

平成 31 年 4 月 30 日

平成30年度 米子市美術館の管理業務に関する事業報告書

米子市長 伊木 隆 司 様

名 称 一般財団法人 米子市文化財団  
報告者 所 在 地 米子市末広町293  
代表者氏名 理 事 長 杉 原 弘 一 郎



管理業務の 実施状況	<p>1 施設管理の充実</p> <p>(1) 収蔵庫、展示室、機械室、外倉庫の燻蒸(害虫防除、防黴処理)を行った。</p> <p>(2) 第5展示室の照明ダクト調光スイッチを取り付け、スポットライトの使用可能灯数を増やした。</p> <p>(3) 第2収蔵庫の点検口を前室に新設し、点検時の振動による庫内環境への影響を低減した。</p> <p>(4) 国重要文化財を出品する特別共催展Ⅱ「大山山麓の至宝」の開催にあわせ、防犯カメラを導入、設置した。</p> <p>2 利用者サービスの向上</p> <p>(1) 特別共催展Ⅰ「ミュシャ展」において、開幕前日に一般公募によるウェブレポーター鑑賞会を開催。さらに会期中は平日に限り写真撮影を解禁し、鑑賞体験の共有・拡散につながる環境を整えたことで、展覧会の魅力をツイッターやインスタグラムで発信してもらうことができた。</p> <p>(2) 特別共催展Ⅱ「大山山麓の至宝」において、文化庁や東京国立博物館等から国重要文化財をはじめとする指定文化財13点を借用、出品した。これまで米子で開催機会の少なかった大山ゆかりの刀剣の展示を実現し、県内外の美術愛好者の来場促進につなげた。</p> <p>(3) 常設展Ⅰの無料開放日について、従来の「文化の日」「関西文化の日」に加え、展示のテーマ「働く」にちなみ「勤労感謝の日」を無料開放日に設定し、利用者の拡大に努めた。</p> <p>(4) 昨年に引き続き、郷土作家を特集する特別企画展を実施。出品作家による公開座談会やギャラリートークを追加で開催するなど、地元の来場者の観覧増加に努めた。</p> <p>(5) 主な収蔵作品について地元経済誌に「35年の精華」と題し連載。また市内の野外彫刻作品について広報よなごに紹介記事を寄稿した。</p> <p>(6) 展覧会情報の発信やイベント告知のためテレビ・ラジオ出演を積極的に行った。</p> <p>3 施設管理業務 別紙1のとおり</p> <p>4 主催事業 別紙2のとおり</p>
施設の 利用状況	<p>1 貸館利用者へのサービス向上</p> <p>(1) 希望団体の事前申請により、開館時間外の延長利用(夜間開館、開会式、搬入出作業)に対応した。</p> <p>(2) 貸館利用者との打ち合わせを徹底し、展示や照明プランへのアドバイスをを行った。</p> <p>2 施設の利用状況 別紙1のとおり</p>
使用料(利用料金)の収入実績	<p>1 施設の利用収入 別紙1のとおり</p>

## 管理業務の実施状況

## (1) 施設管理業務

実施月	主な事項
4月	電気設備点検、冷房準備点検、第2収蔵庫加湿器結露修繕、第3展示室空調機Vベルト交換、ワックス清掃、ガラスクリーニング、市役所道路側除草作業、女子トイレ洗浄便座修理
5月	エレベーター点検、第1収蔵庫加湿器漏水修繕、事務室側自動ドア保守点検、収蔵庫純水器設置・点検、漏電調査、展示室空調機フィルター交換
6月	電気設備点検、第1収蔵庫前室天井漏水点検・修繕、公用車車検整備、第4・5展示室照明設備工事、フィルター清掃、エアコン点検、防犯カメラ設置、収蔵庫加湿器フロートバルブ交換、収蔵庫純水器交換
7月	ワックス剥離清掃、ガラスクリーニング、自動制御設備定期点検、第1収蔵庫加湿器漏水修繕、冷暖房併用準備設定、非常警報ベル設置、警備機器外観機能点検
8月	電気設備点検、エレベーター点検、ホール水銀灯ランプ交換、公用車パンク修理、冷暖房併用設定解除
9月	消防設備点検、屋根型展示ケースダイノックシート貼替、第2収蔵庫点検口設置工事
10月	電気設備点検、第2収蔵庫空調調査、第5展示室照明ダクト調光スイッチ追加取付、来館者用傘立修理
11月	エレベーター点検、冷房停止、エアコン・全熱交換器点検、フィルター清掃、暖房準備、搬入口バリカー修繕、身体障がい者用駐車場支柱タイヤブロック補修、フェンス北側除草作業
12月	電気設備点検、第1収蔵庫加湿器漏水修繕、ホール水銀灯ランプ交換、身体障がい者用駐車場フェンス・表示看板修繕、第1～4展示室・収蔵庫・機械室・外倉庫燻蒸、ワックス清掃、ガラスクリーニング
1月	展示室温度調整、荷解室ドア戸当たり修繕、電気メーター通信機交換、正面玄関自動ドア点検
2月	電気設備点検、エレベーター点検、消防設備点検、第5展示室燻蒸、第1展示室湿度異常点検
3月	ホール水銀灯ランプ交換、定期ガス設備点検、第1収蔵庫純水器指示値異常点検
その他	職員による館内・施設周辺日常点検、日常清掃業務、特別共催展Ⅱ会期中常駐警備及び24時間冷暖房併用空調、夜間機械警備業務

## (2) 事業の実施状況

施設の利用状況 開館日数314日、展示日数242日

総入館者数 66,449人

## ①貸館事業

施設名	利用日数(日)	利用件数(件)	利用者数(人)	利用料(円)	備考
第1展示室	123	18	15,841	494,157	
第2展示室	75	10	10,512	567,178	
第3展示室	173	25	21,779	761,837	
第4展示室	157	23	23,520	1,463,853	
第5展示室	40	7	4,672	67,077	
合計	181	56	34,866	3,354,102	平成31年度前納分 320,088円を含む

※利用日数、利用件数、利用者数の合計は重複しているものを除く

## ②主催事業

事業名	開催期間	入場者数(人)	備考
<b>鑑賞事業</b>			
特別企画展 <b>金畑実とゆかりの作家たち</b> 共同主催: 米子市、米子市教育委員会 米子市美術館・米子市立山陰歴史館連携事業 関連事業: ※は追加開催	H31.2/16(土) ~3/17(日) [26日間]	1,914	2018年に生誕100年を迎えた米子市河岡出身の洋画家・金畑実[1918-2001]の代表作25点と、盟友・五臓会の仲間・教え子たち19作家による洋画、写真等20点をあわせて紹介。 展覧会図録(A4判/34頁/600部)刊行。 会場:第1・2展示室 観覧料:一般500(400)円、大学生以下無料 *( )内は前売、15名以上の団体、障がいのある方[付添1人を含む]の料金 *米子市立山陰歴史館企画展観覧券をお持ちの方、70歳以上の方、米子市歴史館友の会、Feel友の会、鳥取県ミュージアム・ネットワーク加盟館のチケット・年間パスポートなどをご持参の方は当日料金の100円割引
金畑実を語る座談会	1/27(日)	(26)	出演:小谷悦夫氏、小灘一紀氏、福島田鶴子氏、中ハシクシゲ氏、井田勝己氏(本展出品作家) 進行:当館館長 中村智至 会場:米子市立図書館多目的研修室
オープニングギャラリートーク	2/16(土)	(82)	解説:当館主幹兼統括学芸員 青戸貴子、主任学芸員 小川由利香
学芸員によるギャラリートーク	2/23(土) 3/9(土)	(56)	
ゴロ画伯のエレキ紙芝居「金畑実先生とワタシ」	2/24(日)	(29)	出演:ゴロ画伯(本展出品作家 松村宏氏) 会場:米子市立図書館研修室3・4
※小灘一紀氏によるギャラリートーク「金畑実の絵画について」	2/26(火)	(68)	解説:小灘一紀氏(本展出品作家・日展特別会員)
未就学児と親のためのギャラリートーク	3/1(金)	(3)	解説:当館主幹兼統括学芸員 青戸貴子
<b>管理運営等事業</b>			
<b>展覧会事業</b>			
日本海新聞創刊135周年 西部本社設立35周年 米子市美術館開館35周年記念事業 特別共催展 I <b>アール・ヌーヴォーの華            ミュシヤ展</b> 共同主催: 米子市、米子市教育委員会、新日本海新聞社 関連事業: ※は追加開催	4/28(土) ~6/3(日) 会期中無休 [37日間]	13,809	アール・ヌーヴォーの代表的な画家アルフォンス・ミュシヤのポスターや室内装飾パネルなどをはじめ、挿絵画家としての作品や装飾デザイン集、商品パッケージからカレンダー、ポストカード、祖国チェコで手がけた切手や紙幣など貴重な資料を含む424点を紹介。また、2017年米子市が受贈した井上幸夫・英子コレクション(アール・ヌーヴォー期のガラス工芸作品)のうち10点を特別展示。 *会期中の平日は一部作品を除き写真撮影可能とした。 会場:第1~5展示室 観覧料: 一般1,000(800)円、高校・大学生600円、中学生以下無料 *( )内は前売、15名以上の団体、障がいのある方(付添1人を含む)の料金 *70歳以上の方、高校・大学生で15名以上の団体や障がいのある方[付添1人を含む]、日本海クラブうさみみカード会員、Feel友の会、米子市歴史館友の会会員の方は当日料金の100円割引
ウェブレポーター鑑賞会	4/27(金)	(30)	解説:尾形寿行氏(OGATAコレクション所蔵者)
オープニングギャラリートーク	4/28(土)	(70)	解説:尾形寿行氏(OGATAコレクション所蔵者)
コレクタートーク	4/28(土)	(66)	講師:尾形寿行氏(OGATAコレクション所蔵者) 会場:米子市立図書館多目的研修室
学芸員によるギャラリートーク	5/12(土) 5/25(金)※ 5/29(火)※ 6/1(金)※	(231)	
コレクターによるギャラリートーク	5/19(土)	(109)	解説:尾形寿行氏(OGATAコレクション所蔵者) 進行:当館副館長兼統括学芸員 今 香

事業名	開催期間	入場者数(人)	備考
伯耆国「大山開山1300年祭」特別企画 特別共催展Ⅱ <b>大山山麓の至宝</b> <b>～「大山」ゆかりの刀を中心に～</b> 共同主催: 伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会、 米子市、米子市教育委員会 共催: 鳥取県、大山町、 鳥取県教育委員会、鳥取県立博物館 関連事業: ※は追加開催	7/29(日) ～8/26(日) [25日間]	4,480	伯耆国の刀匠「安綱」在銘の太刀3口をはじめ、春日大社所蔵の古伯耆などの大山ゆかりの刀を中心に、国重要文化財《銅造観世音菩薩立像》などの大山の重宝、大山寺圓流院画僧・喀然《朝比奈三郎 曾我五郎の草摺を曳く図》など計97点を一堂に展示。 会場: 第1～4展示室 観覧料: 一般800(600)円、大学生400(300)円、 高校生以下無料 ＊( )内は前売、10名以上の団体、障がいのある方(付添1人を含む)の料金 ＊70歳以上の方、Feel友の会、米子市歴史館友の会会員の方、鳥取県ミュージアム・ネットワーク加盟館チケット・年間パスポートなどをご持参の方は当日料金の100円割引
オープニングギャラリートーク	7/29(日)	(75)	解説: 酒井元樹氏(東京国立博物館主任研究員)
記念講演会「伯耆国、大山ゆかりの刀剣について」	7/29(日)	(141)	講師: 酒井元樹氏(東京国立博物館主任研究員) 会場: 米子市立図書館多目的研修室
日本刀研師・鞆師実演	8/5(日)	(75)	講師: 森井徳訓氏(研師)、森井鐵太郎氏(研師)、 森井敦央氏(鞆師) 会場: 米子市立図書館多目的研修室
ギャラリートーク	8/18(土)	(92)	解説: 森井徳訓氏(公益財団法人日本刀文化振興協会理事)、 福代宏氏(鳥取県立博物館主幹学芸員)、中森祥氏(鳥取県教育委員会文化財課係長)、当館主幹兼統括学芸員 青戸貴子
常設(コレクション)展Ⅰ <b>はたらく人々</b> 共同主催: 米子市、米子市教育委員会	10/28(日) ～11/25(日) [25日間]	2,016	林忠彦《坂口安吾》、笹本恒子《笠置シズ子》、武良俊明《船あげ》など、美術の中に登場する様々な業種・職種の働く人々の姿を捉えた洋画・写真・版画作品を39点を展示。 会場: 第2展示室 観覧料: 一般320(270)円 ＊大学生以下の方、70歳以上の方、障がいのある方(付添の方1名含む)及び米子市美術館後援会会員は無料 ＊( )内は15名以上の団体、Feel友の会、米子市歴史館友の会会員の方、鳥取県ミュージアム・ネットワーク加盟館のチケット・年間パスポートなどをご持参の方、日本海クラブうさみみ、山陰中央新報さんさんクラブ会員の方の料金 ＊「文化の日」「関西文化の日」「勤労感謝の日」無料開放日 11/3、11/17、11/18、11/23の4日間 (期間中入場者数:1,174人)
常設(コレクション)展Ⅱ <b>よなご子ども図鑑</b> <b>—米子市美術館の子どもたち—</b> 共同主催: 米子市、米子市教育委員会	H31.1/13(日) ～2/3(日) [19日間]	646	植田正治《カコ》、笹鹿彪《小鳥屋》など子どもたちのあどけないしぐさや愛らしい表情を捉えた写真、洋画、版画作品37点を展示。 会場: 第2展示室 観覧料: 常設展Ⅰに同じ
<b>第58回 米子市美術展覧会(市展)</b> 共同主催: 米子市、米子市教育委員会 協力: 第60回米子市音楽祭(市音)	6/22(金) ～6/30(土) 会期中無休 [9日間]	2,746	市民から公募した6部門(洋画、日本画、書道、写真、工芸、彫刻)303点を展示。 ＊初日、表彰式と審査員による講評を実施 会場: 第1～5展示室 観覧料: 無料 ＊初日表彰式終了後、審査員による講評を開催 ＊開館記念日イベント 本展開会式にてコーラス ポエボエ(米子市音楽祭出演団体)による「米子市の歌」など合唱披露
<b>第62回 鳥取県美術展覧会(県展)</b> 主催: 鳥取県、鳥取県教育委員会、新日本海新聞社 共催: 倉吉博物館、日南町美術館	10/6(土)～ 10/15(月) 会期中無休 [10日間]	3,624	県民から公募した8部門(洋画、日本画、版画、彫刻、工芸、書道、写真、デザイン)のうち入選作品454点を展示。 会場: 全館 観覧料: 無料 ＊初日、審査員による講評とギャラリートークを開催
共催展 <b>米子市障がい者アート展 KANSEI 5</b> ～障がいのある人たちが創造するカタチ～ 主催: 米子市 共催: 米子市教育委員会	9/25(火) ～10/1(月) [6日間]	837	市内の障がい者施設に入通所している方による美術作品198点を展示。 会場: 第4展示室 観覧料: 無料

事業名	開催期間	入場者数(人)	備考
共催展 米子市立図書館に集まった88人の人々と 池平徹兵さんで作った 世界で一冊の絵本原画展  主催:米子市 共催:米子市教育委員会	10/19(金) ～10/23(火) [5日間]	338	島根大学教育学部出身の画家・池平徹兵氏が男女共同参画推進ワークショップで参加者と共同制作した「世界で一冊の絵本」を展示。 会場:第5展示室 観覧料:無料
共催展 とっりのお宝おひろめ IN 米子 ～鳥取県指定文化財展～  主催:鳥取県教育委員会 共催:米子市、米子市教育委員会  関連事業:	H31.1/6(日) ～1/20(日) [13日間]	1,062	近年、鳥取県指定文化財となった《瑞仙寺文書》などの古文書や工芸品、無形文化財「七宝」保持者橋詰峯子氏の作品など61点を展示。また《弓浜半島及び近隣地域のトンド》などの無形民俗文化財についてパネル・映像で紹介。  会場:第1展示室 観覧料:無料
展示解説	1/6(日)	(16)	解説:玉木秀幸氏、原島知子氏(鳥取県教育委員会文化財課)
現地見学バスツアー 「弓浜半島及び近隣地域のトンド」	1/6(日)	(13)	
展示解説 ～中世資料の世界～	1/12(土) 同日2回実施	(35)	解説:山本隆一朗氏(鳥取県立博物館学芸員)
教育普及事業			
ミュージアムスクール	全3回		
第1回 創作・交流広場活用ワークショップ 「ふわふわアートに大挑戦!!」	9/16(日)	19	講師:藤田英樹氏(彫刻家・島根大学教育学部教授) 会場:第2展示室及び創作・交流広場
第2回「米子まちなか彫刻探検ツアー」	10/14(日)	6(※)	解説:当館主幹兼統括学芸員 青戸貴子 場所:米子市美術館玄関横《喜怒哀楽の図》ブロンズレリーフ～米子市公会堂《平和の泉》
第3回「美術上映会」 「ベラスケスー素顔の宮廷画家ー」 「ゴヤー魅惑のマナー」	H31.2/3(日)	22	解説:当館主任学芸員 小川由利香 会場:第1展示室
出前講座 「米子市体力づくり歩け歩け大会 米子彫刻ロード巡り」	H31.3/10(日)	63(※)	実施先:米子市スポーツ振興課 解説:当館主任学芸員 小川由利香 会場:米子市役所～湊山公園
土曜講座 (担当学芸員による展示解説)	常設展会期中 指定日の土曜日	(51) (15)	常設展Ⅰ…11/3、11/17 常設展Ⅱ…1/26
米子市文化財団・米子高専連携事業 夏休みこども体験教室 夏休み工作教室 「発泡材を切り抜いて動物のかたちを作ろう!」	8/20(月)	16(※)	会場:米子市淀江文化センター 講師:西川賢治氏(米子高専建築学科教授)
米子市文化財団連携事業 米子市文化財団フェスティバル	11/10(土)	1,996(※)	米子市文化財団の9施設が集まり、1日限定のワークショップや昔遊び、弓矢体験などを実施。美術館ブースでは「石のかけらでペンダントを作ろう!」を開催。 会場:米子城跡三の丸広場(米子市宮湊山球場) 講師:藤田英樹氏(彫刻家・島根大学教育学部教授) (米子城フェスタ同時開催)

事業名	開催期間	入場者数(人)	備考
共催事業 AIR475 2018シンポジウム 2024年鳥取県立博物館のオープンにあわせて、 米子で芸術祭をやりませんか！  主催：AIR475(エアヨナゴ) 共催：米子市 助成：平成30年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業、 鳥取県アートによる地域活性化事業	H31.2/26(火)	70	レクチャー：西野達氏(AIR475招聘アーティスト) ディスカッション：西野達氏、 藤田英樹氏(彫刻家・島根大学教育学部教授)、 赤井あずみ氏(アートプロジェクトHOSPITALEキュレーター、 鳥取県立博物館主任学芸員)  *美術館前広場に西野達作品《ミラーボールカー》を展示  会場：1階ホール 参加無料
地元若手作家展の支援	調査年	-	
博物館実習受入	随時	-	今年度希望なし
職場体験学習・インターンシップ受入		-	3人受入(福米中学校2人、株式会社インサイト1人)
基礎体験活動受入		-	14人受入(島根大学1000時間体験学修)
モニター制度		-	展覧会観覧後、モニターレポートを提出、 モニター会議実施(第6期2年目・2人登録)
サポーター制度	通年	-	展覧会広報補助、展覧会関連事業補助等で 15回活動(第6期2年目・11人登録)
ミュージアムスタンプラリー		-	達成者に記念品贈呈
アンケート		-	来場者に受付配布し、全主催事業で実施
ホームページによる情報提供		-	展覧会情報、貸館展示情報、展示室空き状況、 チケット取扱等随時更新
資料収集事業			
収蔵品基本台帳作成 郷土関係作家、次年度資料収集 「収蔵品管理システム」活用	通年	-	収蔵作家関係、地元作家関係調査  特別企画展、特別共催展実施に向けた調査等
収蔵品の修理・修復	-	-	刀剣手入(2回) 武良俊明《船あげ》画面洗浄
収蔵品の貸出等	随時	-	「第5回国展・とつとりの会」へ杵島隆《老婆像》ほか計16点貸出 ※館内展示 「松平齊貴からはじまる山陰の写真」(島根県立美術館)へ 岩佐保雄《河岸情趣》ほか計16点貸出 「生誕110年記念展 現代彫刻の異才 辻晉堂(仮称)」 (イムラアートギャラリー)へ 辻晉堂《犬》ほか計4点貸出 特別観覧1件 刀剣作品調査のため 画像貸出2件
収蔵品状況			洋画193点、日本画89点、素描294点、 彫刻31点、書10点、版画313点、写真838点、 工芸1点、資料70点 合計1,839点
その他事業			
展覧会図録等の売捌	通年	-	既刊展覧会図録や所蔵品目録などの販売
主催事業入場者数合計(人)		31,583	美術館外で実施したもの(※)及び 重複しているもの( )は除く

米子市美術館の管理業務の実施に係る収支状況(平成30年度)			
収 入 (円)		支 出 (円)	
項 目	金 額	項 目	金 額
指定管理料収入	51,912,000	人件費	29,566,351
業務受託収入	18,099,999	館長(1人)	
利用料収入	3,354,102	副館長(学芸員兼務1人)	
事業収入	7,264,307	学芸員(2人)	
特別企画展	919,650	管理員兼事務員(1人)	
特別共催展 I	2,428,384	事務員(1人)	
特別共催展 II	3,538,533	施設費	22,980,679
常設展 I	60,510	旅費交通費	145,632
常設展 II	34,230	通信運搬費	266,112
市展(出品料)	283,000	手数料	31,104
雑収入	488,150	消耗品費	746,561
広告料収入	180,000	修繕費	498,991
その他の収入	308,150	印刷製本費	55,080
財団繰入金	3,573,542	燃料費	46,088
		光熱水料費	9,589,124
		電気・ガス・上下水道	
		賃借料	3,317,513
		保険料	72,400
		租税公課	2,687,400
		支払負担金	82,500
		委託費	5,442,174
		清掃委託費	
		警備委託費	
		昇降機保守点検費	
		空調設備機器保守点検費	
		消防用設備機器保守点検費	
		収蔵庫等燻蒸作業費	
		自動ドア保守点検費	
		施設事業費	27,936,616
		特別企画展	3,274,304
		特別共催展 I	2,000,000
		特別共催展 II	20,129,469
		常設展 I	781,008
		常設展 II	400,109
		市展	1,075,904
		県展	3,040
		教育普及事業	44,868
		資料収集事業	206,808
		当財団施設連携事業	21,106
		事務局費	4,208,454
合 計	84,692,100	合 計	84,692,100